

平戸

令和4年9月30日
横浜市立平戸小学校
〒244-0803
横浜市戸塚区平戸町542番地
TEL 045-821-2329
FAX 045-826-2005



学校 HP、
校長室だよりが更
新されています。ぜ
ひご覧ください。



自ら乗り越えようとする姿

校長 若色 昌孝

「校長先生、見て！」鉄棒から走ってくる子に言われました。最近ずっと、逆上がりの練習をしている子です。逆上がりができるようになったのかな…。違いました。その子が私に見せたのは、その手にできたマメでした。「がんばってるの。」と。マメはつぶれ、薄く皮がむけていました。私はマメに、この子のがんばる姿が浮かび、その手がとても美しく見えました。

時代は、得意なことを伸ばしましょう、と叫びます。それは間違っははいません。学校教育もその方向です。しかし私たち大人は、得意なことですべてが回っているわけではなく、苦手なことの向こうに渡らなくてはいけないこともあることを知っています。

逆上がりにしる、ひざ掛け上がりにしる、人生において、どうしてもできなくてははいけな
い…というものではありません。縄跳びの二重跳び、跳び箱の台上前転しかりです。しかし、
つい、「がんばれ！」と声が出てしまいます。できたときには一緒に喜んでしまいます。それ
は、子どもにとって何かが出来たという「結果」だけではなく、
できなかったことに挑み自ら乗り越えたという「過程」こそが、
その子の成長において、目に見えない大きな糧になると信じてい
るからです。私たち大人は、やらせるのではなく、やる気にさせる
ことにこそ力を注いでいきたいものだと、「よおし…」と小さく
声を発し鉄棒を握る子どもたちのそばで、思いました。



<休み時間の子どもたち>

『まず止まって、右、左、右』

秋の交通安全運動にも合わせて、今学校では、再度交通安全について子どもたちに指導しています。合言葉は、『まず止まっ
て、右、左、右』です。校内にも、安全確認のポイントを作って練習をしています。

登校時には、保護者の方、地域の方がいくつかのポイントに立って安全見守りをしてくだ
さっていますが、下校を含め、多くの時間、多くの場所では、子どもたちは自らの力で安全確



<廊下の練習ポイント>

認をし、渡る・渡らないの判断をしています。安全の向上には、子どもたち自身の安全意識の高まりと、自ら安全を確認して渡
る行動の定着が必要だと考えています。ご家庭におかれましても、改めて交通安全のご指導をよろしくお願いいたします。